

CASIO®

P

3210*JA

GB-6900

取扱説明書

保証書付

3210

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

ご使用にあたって**デモ表示について**

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。
デモ表示では、時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。

- デモ表示を解除するには
いずれかのボタンを押します。
- デモ表示にするには
◎ ボタンを約 3 秒間押し続けます。

パワーセービングについて

本機は工場出荷時に「パワーセービング」が ON に設定してあります。
Bluetooth 接続している状態でパワーセービングが ON の場合、時計を動かしたり、ボタンの操作をしない状態で約 1 時間経過すると自動的に節電状態（時刻モードに戻り、PS マークが点滅）になり、Bluetooth 接続も解除されます。
ただし、次の場合はパワーセービング状態にはなりません。

- デモ表示中
- ペアリング（接続設定）情報が無いとき

Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. USA の商標または登録商標です。

はじめに

本製品は、Bluetooth v4.0（以下、Bluetooth と略）によって対応した携帯電話等と通信し、音声やメールの着信などを画面表示や振動、電子音でお知らせする機能を持っています。

本製品は、日本の電波法の認証を取得しておりますので、日本国内でお使いいただけます。

Bluetooth 機能を使用する際は、対応する携帯電話をお使いください。

Bluetooth 機能について、詳しい情報をお知りになりたい方は、カシオホームページ <http://casio.jp/wat/tech/BLE/> でご確認ください。

Bluetooth 機能のご注意

1. 本製品と対応した携帯電話等をそばにおいてご使用ください。
周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続距離が極端に短くなることがあります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）の影響を受けることがあります。
特に、電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、正常に接続できないことがあります。
また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
3. 本製品の Bluetooth 機能と無線 LAN 対応機器は同一の周波数帯（2.4GHz）を使用するため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因となる場合があります。
4. 本製品は、CE（欧州連合および欧州自由貿易連合加盟国）、FCC（アメリカ）、Japan Radio Law（日本）の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。
5. 各国の航空法により、航空機内での使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

◆携帯電話※の時刻と合います

BluetoothをONにしていれば自動的に携帯電話※の日付・時刻を取り込みます。

→ P.16

◆携帯電話※と通信できます

Bluetoothに対応した機器と相互に通信することにより、時計で携帯電話※の着信音を止めたり、電話／メールの着信を知ることができます。

→ P.18

◆ワールドタイムがわかります

世界100都市の時刻を表示できます。

→ P.24

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、電子音や振動でお知らせします。

→ P.26

◆ストップウォッチとして使えます

1/100秒単位で24時間まで計測できます。

→ P.29

◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になると電子音や振動でお知らせします。

→ P.30

※ 対応機種は本書の表紙裏面に記載の URL を参照してください。

本製品で利用できる携帯電話の機能

本製品の機能をご活用いただくために、対応した携帯電話をお使いください。

- 対応機種は本書の表紙裏面に記載の URL を参照してください。

本製品では、対応携帯電話と連携した以下の機能をご利用いただけます。

- 携帯電話の着信通知（音声／メールなど）
 - 発信者名、発信者番号または送信者アドレス
 - 着信件数グラフィック表示
 - 着信カテゴリー表示
 - 電子音／振動／表示による通知
- 携帯電話による時刻修正
 - 接続している携帯電話の時刻に、時計の時刻が合います。
- 携帯探索機能
 - 接続している携帯電話の着信音を鳴らすことで、携帯電話を探すことができます。
 - 着信音の音止めは、時計のタップ操作（約 15 秒間有効）か、携帯電話本体で行ってください。

その他にも、携帯アプリと連携することで様々な機能が使えます。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



警告

Bluetooth について

病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが、計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。



注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとし、サビ易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となる
ことがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

はじめに	表紙裏面
Bluetooth 機能のご注意	表紙裏面
この時計の特長	1
本製品で利用できる携帯電話の機能	2
安全上のご注意	3
本書について	11
本文中の記号について	11
タップ操作について	11
操作部と画面表示について	12
液晶表示について	12
画面に表示されるマークについて	13
モードの種類と切り替え	14
各モードでできること	15

Bluetooth	16
Bluetooth 対応機器と接続する（ペアリング）	16
対応機器（携帯電話）との接続を 解除／再接続する	18
通信機能を使用する	18
時刻を合わせる	21
手動で時刻を合わせる （Bluetooth が ON のとき）	21
手動で時刻を合わせる （Bluetooth が OFF のとき）	22
ワールドタイム	24
他のタイムゾーンの時刻を見る	24
サマータイム（DST）の設定	25
アラーム・時報	26
アラームモードを選ぶ	26
アラーム時刻を設定する	27
電子音／振動を止める	28

電子音／振動を確認する（モニターアラーム）.....	28	ライト	38
ストップウォッチ	29	ライトを点灯させる	38
ストップウォッチモードを選ぶ	29	ライトの点灯時間を切り替える	38
計測する	29	パワーセービング	39
タイマー	30	節電状態の解除	39
タイマーモードを選ぶ	30	パワーセービングの ON/OFF	40
計測時間を設定する	30	バッテリーの交換時期	41
計測する	31	故障かな？と思ったときは	42
電子音／振動を止める	31	通信機能	42
セットアップ	32	時刻表示	42
Bluetooth デバイス情報・有効サービス情報を 確認する	32	ワールドタイムモード	42
有効サービス情報	33	バッテリー	43
オプション機能の設定	33	製品仕様	44
ボタンの操作音	37	ご使用上の注意	48
ボタン操作音の ON/OFF	37		

無線に関するご注意.....	52
お手入れについて	53
電池交換について	54
金属バンドの駒詰めについて	54
都市コードー覧表	55
Japan Compliance Statement.....	58
FCC statements.....	59
IC statements	60
EU declaration of Conformity	61

本書について

本文中の記号について

-  **注意**：誤った使用方法によるケガや故障を防ぐための情報を記載しています。
-  **重要**：正しく使用するために必要な情報を記載しています。
-  **参考**：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。
-  **：**詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

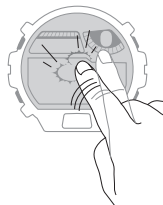
タップ操作について

時計の画面の中心を指でたたくことをタップといいます。

例 接続中に、携帯電話の着信動作を止めるときは2回タップします。

タップのやり方：

軽くノックするようにトントンとたたってください。



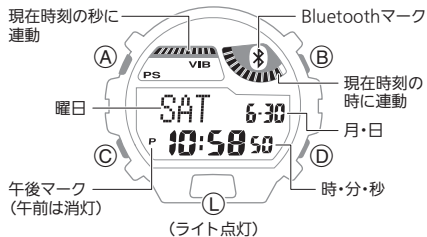
重要

- タップ操作は、時計表示上でタップマーク（TAP）点灯中のみ有効となります。
- タップマーク（TAP）は、接続中の携帯電話の着信動作を止めるときや、アラーム／タイマーの報知を止めるときなど、タップ操作が有効な状態になると自動的に点灯します。

操作部と画面表示について

この時計の操作は、(A)～(D) ボタンおよび(L) ボタンを使用します。また、各表示部は以下を表します。

 モードの種類と切り替え…P.14



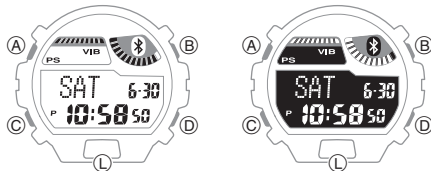
参考

- この取扱説明書では各ボタンの操作を説明するために、図に記載した名称を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

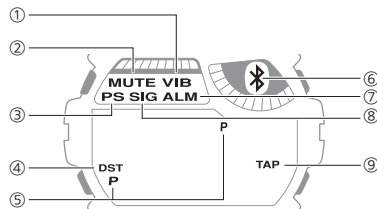
液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。

- 液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。



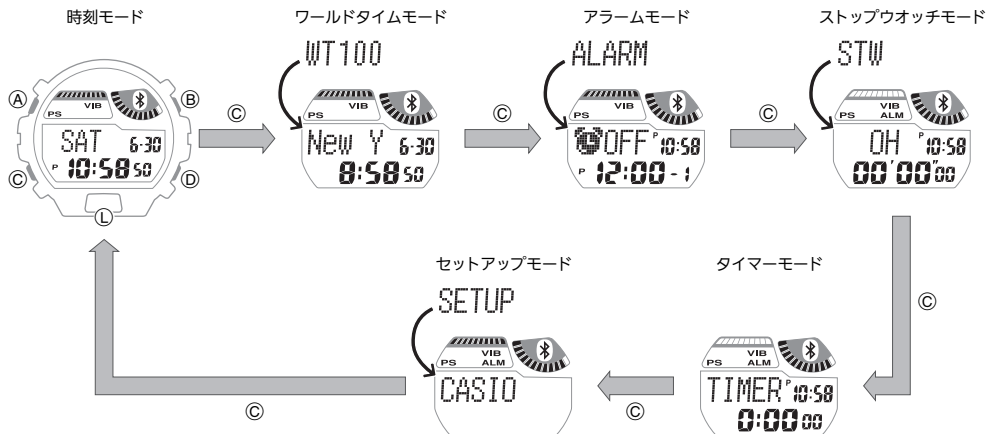
画面に表示されるマークについて



番号	名称	参照ページ
①	VIB マーク	P.36
②	MUTE マーク	P.37
③	パワーセービングマーク	P.39
④	DST マーク	P.25
⑤	午後マーク	P.12
⑥	Bluetooth マーク	P.16
⑦	アラームマーク	P.28
⑧	時報マーク	P.28
⑨	タップマーク	P.20

モードの種類と切り替え

◎ ボタンを押すごとに以下のようにモードが切り替わります。



各モードでできること

- Bluetooth 対応機器とのワイヤレス通信は、すべてのモード（設定中を除く）でご利用いただけます。

モード	機能	参照ページ
時刻モード	- 時刻表示 - 携帯探索機能 - 時刻、日付、サマータイムの設定、12/24 時制切り替え - 手動時刻修正	P.14 P.20 P.21
ワールドタイムモード	世界 100 都市 (35 タイムゾーン) の時刻表示	P.24
アラームモード	- アラーム時刻の設定 - 時報の ON/OFF 設定	P.26

モード	機能	参照ページ
ストップウォッチモード	経過時間の計測	P.29
タイマーモード	タイマーの設定、計測	P.30
セットアップモード	- Bluetooth デバイスネーム、Bluetooth デバイスアドレス、有効サービスの確認 - ALERT ON/OFF 機能設定 - 着信アニメ ON/OFF 設定 - ALERT 報知方法設定	P.32

Bluetooth

この時計は、Bluetooth に対応した機器と接続してワイヤレス通信ができます。通信機能を使用する場合は、最初に接続設定（ペアリング）をしてください。

参考

- この時計の日付・時刻は、Bluetooth を ON にしていれば自動的に対応機器（携帯電話）の日付・時刻に合います。
ただし、携帯電話や通信事業者のサービスが自動時刻修正に対応していない場合、正しい時刻にならないことがあります。
- 手動で時刻を合わせることもできます。

 時刻を合わせる…P.21

Bluetooth 対応機器と接続する（ペアリング）

① 携帯電話を時計の近くに置きます。

参考

携帯電話は時計から 1m 以内に置いてください。

② 携帯電話をデバイスの検索状態にします。

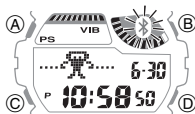
参考

- 接続時の操作方法は携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- 接続する携帯電話が変わったときは、元のペアリング（接続設定）情報をクリアしてから、再度ペアリング作業を行ってください。

 セットアップ…P.32

③ 時刻モードで、**Ⓑ** ボタンを 2 秒以上押し続けます。

- 確認音が鳴り、携帯電話への接続を自動的に開始します。



- 接続を中断するときは、**Ⓑ** ボタンを 2 秒以上押し続けてください。

④ 接続が完了すると、Bluetooth マークが点灯・約 1 秒間振動し、時刻モードに切り替わります。

参考

- 接続中にリンクロス（一時的に接続を解除）したときは、約 1 秒間振動後に以下の画面を表示し、約 30 秒後に時刻モードに切り替わります。
- 電波が見つかれば再接続し、見つからなければピッと音が鳴り、接続が解除されます。



- 30 秒経過してもペアリング（接続設定）した機器と接続できなかったときは、Bluetooth マークが点灯しないで時刻モードに切り替わります。この場合は手順 1 からやり直してください。

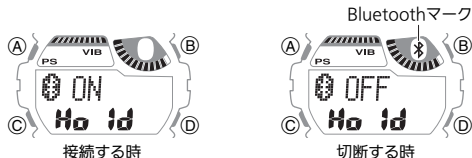
重要

画面上に Bluetooth マーク（※）が点灯しているときは、電波の送受信を行っています。電波を止める場合は、時刻モードで **Ⓑ** ボタンを 2 秒以上押し続け、Bluetooth マーク（※）を消灯させてください。接続は解除されます。

対応機器（携帯電話）との接続を解除／再接続する

- 時刻モードで、**②** ボタンを 2 秒以上押し続けます。

● 確認音が鳴り、接続／解除が切り替わります。



- 接続状態のときは、Bluetooth マークが点灯します。

参考

- 時計と携帯電話がリンクロス（一時的に接続を解除）した場合、約 1 時間の間、10 分毎に自動的に再接続を行います。1 時間を越えた場合やすぐに接続したい場合は、**②** ボタンを 2 秒以上押し続けてください。
- パワーセービング（P.39 参照）が働くと自動的に接続を OFF にして節電状態（時刻モードに戻り、PS マークが点滅）になります。節電状態が解除されると自動的に再接続します。

通信機能を使用する

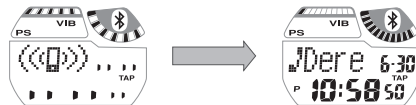
◆ 携帯電話着信時に時計で発信者情報を見る

✓ 重要

時計を操作して携帯電話の着信動作を止めても、通話中にはなりません。通話または保留にするときは、携帯電話本体で操作をしてください。

① 携帯電話に着信があると以下の動作をします。

- 電子音や振動で着信をお知らせします。
- 着信アイコンを表示した後に発信者の名前、または発信者の番号を表示します。



参考

着信アニメの設定を ON にしているときは、着信アイコン表示後にアニメーションを表示します。

- ② 時計画面の中心を指先で2回タップすると、携帯電話および時計の着信音／振動が止まります（いずれかのボタンを押すと、時計の着信動作のみ止まります）。

時計の表示は発信者情報に切り替わります。

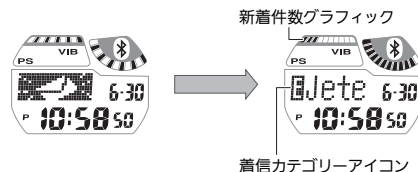
参考

時計が節電状態のときは、着信のお知らせをしません。

◆メールの受信に対応する

- ① メールを受信すると以下の動作をします。

- 電子音や振動で着信をお知らせします。
- 着信アイコンを表示した後に送信者の名前、アドレスまたは番号を表示します。



- 受信したメールは、着信カテゴリアイコンで種類の判別ができます。

着信カテゴリアイコンの表示	メールの種類
[E]	Email
[S]	SMS/MMS
[V]	Voice mail
[I]	Instant Message

② いずれかのボタンを押すと、時計の着信動作が止まります。

時計の表示は送信者情報に切り替わります。

◆ その他の受信に対応する

- その他の情報を受信した場合も、設定した報知方法でお知らせします。



- 着信動作を止めるときは、メールの受信と同様の操作方法で止めます。ただし、情報によっては、タップ操作が有効（TAP マーク点灯）となります。

◆ 携帯電話を探す

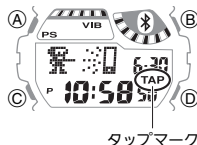
時計を操作して携帯電話の着信音を鳴らすことができます。携帯電話がマナーモードに設定されていても強制的に着信音を鳴らすことができるので、携帯電話を探すときなどに便利です。

✓ 重要

着信音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。

① 時刻モードで、Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます。

以下の画面表示に切り替わり、携帯電話の着信音が鳴ります。着信音はタップ操作で止める、または携帯電話の本体を操作して止めるまで鳴り続けます。



タップマーク

② 時計画面の中心を指先で2回タップすると、着信音が止まります。

タップ操作が使えるのは、画面にタップマークが点灯している間（約 15 秒）だけです。それ以上経過したときは、携帯電話の本体を操作して止めます。携帯電話の本体の操作ができないときや見つからないときは、再度手順 1 から操作し、タップ操作で止めてください。

時刻を合わせる

時刻を合わせる場合、Bluetooth を ON にしていれば自動的に対応機器（携帯電話）の日付・時刻に合わせて表示します。

ただし、携帯電話や通信事業者のサービスが自動時刻修正に対応していない場合、正しい時刻にならないことがあります。

手動で時刻を合わせる（Bluetooth が ON のとき）

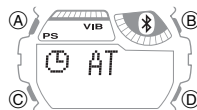
時計の時刻が対応機器（携帯電話）の時刻と一致していないときは、以下の操作で時刻を合わせます。

●時刻モードで、**① ボタンを 5 秒以上押し続けます。**

- ① ボタンを押し続けると約 2 秒後に [SET Hold] と表示されますが、そのまま ① ボタンを押し続けると、時刻修正中画面に切り替わります。

重要

Bluetooth 接続していないと、時刻修正の画面に切り替わりません。



- 時刻修正中画面を表示しているときに、いずれかのボタンを押すと時刻モードに切り替わります。
- 時刻の修正が終わると時刻モードに切り替わります。

重要

携帯電話がサービス 2 (P.33 参照) に対応していない場合 (P.32 参照) は、正確な時刻を表示できません。その場合は、「手動で時刻を合わせる (Bluetooth が OFF のとき)」を参照して、手動でホームタイムのタイムゾーンエリアとサマータイムの設定をしてください。



手動で時刻を合わせる (Bluetooth が OFF のとき)
…P.22

参考

時刻修正中に他の着信が入った場合、報知はせずそのまま時刻修正を続けます。ただし、時刻修正が終了後に、着信内容が表示されます。

手動で時刻を合わせる(BluetoothがOFFのとき)

Bluetooth 通信による時刻合わせができないときは、手動で時刻および日付を合わせます。

◆時刻と日付の合わせ方

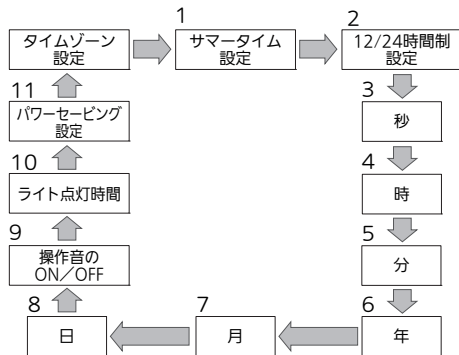
- ① 時刻モードで、**Ⓐ** ボタンを約 2 秒間押し続け、タイムゾーン設定画面に切り替えます。

[SET Hold] を表示し、タイムゾーンエリアセット画面を表示します。



- ② **Ⓒ** ボタンを押して、設定する項目を選択します。

Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順序で設定項目が切り替わります。



参考

上図の数字は、**Ⓒ** ボタンを押す回数を示しています。

③ ⑧ または ⑨ ボタンを押して、以下の設定を変更します。

画面	変更項目	操作
UTC + 09:00	タイムゾーン変更	⑧ または ⑨ ボタンを押す
ON	DST の ON/OFF を切り替え	⑨ ボタンを押す
12H	12時制(12H)と24時制(24H)の切り替え	⑨ ボタンを押す
50	秒を「00」にリセット - 30 ~ 59 秒の時は 1 分繰り上がります	⑨ ボタンを押す
10:58	「時」「分」の変更	⑧ または ⑨ ボタンを押す
2012 6-30	「年」「月」「日」の変更	⑧ または ⑨ ボタンを押す

 参考

使用する地域の時差は、都市コード一覧表を参照してください。

 都市コード一覧表…P.55

- サマータイムとは、DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻(スタンダードタイム)から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。
- 日付の設定は、異なる月の長さや、うるう年にも対応しています(フルオートカレンダー)。

④ ④ ボタンを押すと設定を終了し、時刻モードに戻ります。

ワールドタイム

ワールドタイムモードは、世界 100 都市 (35 タイムゾーン) の時刻を知ることができます。ワールドタイムモードで選択した都市を「ワールドタイム都市」といいます。

他のタイムゾーンの時刻を見る

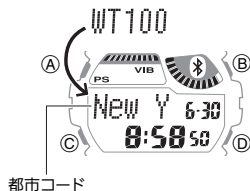
① 時刻モードで、Ⓒ ボタンを押すと、ワールドタイムモードに切り替わります。

[WT100] を表示し、約 1 秒後に現在設定しているワールドタイム都市を表示します。

🗨️ 参考

ワールドタイムモードのまま 2 ～ 3 分間何も操作しないと、自動的に時刻モードに戻ります。

🔍 モードの種類と切り替え…P.14



② ② または ④ ボタンを押して都市コードを選択します。

- 選択した都市の現在時刻を表示します。
- ② または ④ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 都市コードを UTC (時差 0) にするときは、② ボタンと ④ ボタンを同時に押します。
- ② ボタンを押すと選択している都市名を最初から表示します。

③ ③ ボタンを 5 回押すと、時刻モードに切り替わります。

✔ 重要

携帯電話がサービス 2 (P.33 参照) に対応していない場合 (P.32 参照) は、正確な時刻を表示できません。その場合は「手動で時刻を合わせる (Bluetooth が OFF のとき)」を参照して、手動でホームタイムのタイムゾーンエリアとサマータイムの設定をしてください。

🔍 手動で時刻を合わせる (Bluetooth が OFF のとき)
…P.22

サマータイム (DST) の設定

● ワールドタイムモードで、**(A)** ボタンを約 2 秒間押し続けます。

- [DST Hold] を表示した後に [DST Hold] が消え、サマータイムの設定が切り替わります。
- 表示時刻がサマータイムのときは、[DST] を表示します。



✓ 重要

- 携帯電話がサービス 2 (P.33 参照) に対応していても、スタンダードタイムからサマータイム (DST) に切り替えるときは、手動で設定してください。
- 携帯電話がサービス 2 (P.33 参照) に対応していない場合 (P.32 参照) は、正確な時刻を表示できません。その場合は、「手動で時刻を合わせる (Bluetooth が OFF のとき)」を参照して、手動でホームタイムのタイムゾーンエリアとサマータイムの設定をしてください。

🔍 手動で時刻を合わせる (Bluetooth が OFF のとき)
…P.22

💬 参考

- サマータイムとは、DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻 (スタンダードタイム) から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。
- ワールドタイム都市に UTC を設定した場合、サマータイム設定の切り替えはできません。
- サマータイム設定は、選択している都市のみ適用します。他の都市には影響しません。

アラーム・時報

アラームは5つの時刻を設定できます。設定した時刻になると10秒間電子音が鳴る、または時計を10秒間振動させてお知らせします。

毎正時(00分)に電子音または振動でお知らせすることもできます。

 アラーム/タイマー報知方法の設定…P.36

アラームモードを選ぶ

- 時刻モードで、**ⓐ** ボタンを2回押すと、アラームモードに切り替わります。

[ALARM] を表示し、約1秒後にアラーム設定画面(アラーム1～5または時報設定)を表示します。

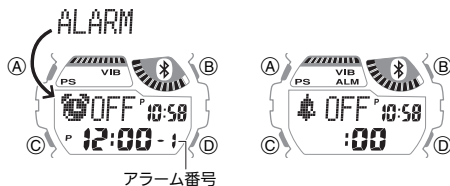
参考

アラームモードのまま2～3分間何も操作しないと、自動的に時刻モードに戻ります。

 モードの種類と切り替え…P.14

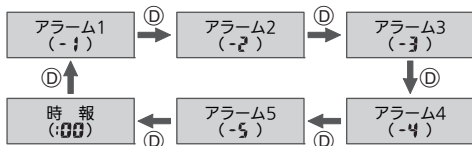
アラーム設定画面

時報設定画面



アラーム時刻を設定する

- ① アラームモードで ④ ボタンを押し、設定するアラーム番号を選択します。



- ② ⑥ ボタンを押し、アラームの種類または時報の ON/OFF を選択します。

アラームの種類

OFF : アラームは鳴りません (アラーム機能 OFF)。

1TIME : 1 回だけ、設定した時刻にアラームが鳴り、翌日以降は鳴りません。

DAILY : 毎日、設定した時刻にアラームが鳴ります。

時報

OFF : 時報は鳴りません。

ON : 毎正時 (00 分) に時報が鳴ります。

- ③ ⑥ ボタンをアラーム時刻の「時」表示が点滅するまで (約 2 秒間) 押し続けます。

[SET Hold] を表示した後に [SET Hold] が消え、アラーム時刻設定画面に切り替わります。

- ④ ⑥ ボタンを押すごとに、「時」または「分」の選択が切り替わります。

選択している方が点滅します。



- ⑤ ⑥ または ④ ボタンを押して「時」または「分」を設定します。

- ⑥ または ④ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 12 時間制で表示している場合、午後は [P] を表示します。

6 ④ ボタンを押して設定を終了します。

アラームまたは時報の設定を ON にするとアラームマークまたは時報マークが点灯します。

アラーム ON



時報 ON



7 ③ ボタンを 4 回押して、時刻モードに切り替えます。

電子音／振動を止める

- いずれかのボタンを押す、または時計画面の中心を指先で2回タップすると、電子音／振動が止まります。

電子音／振動を確認する(モニターアラーム)

- アラームモードで ④ ボタンを押し続けると、押している間電子音／振動が確認できます。

ストップウォッチ

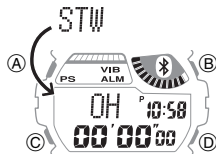
ストップウォッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59.99 秒まで計測できます。計測範囲を超えた場合は、0 に戻って計測を続けます。

ストップウォッチモードを選ぶ

- 時刻モードで、**Ⓒ** ボタンを 3 回押すと、ストップウォッチモードに切り替わります。

[STW] を表示し、約 1 秒後にストップウォッチ表示に切り替わります。

 モードの種類と切り替え…P.14



計測する

- ストップウォッチ計測のボタン操作は、以下の通りです。

- 経過時間計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓓ → Ⓓ → Ⓑ
スタート ストップ (再スタート) (ストップ) リセット

- スプリットタイム（途中経過時間）計測

Ⓓ → Ⓑ → Ⓑ → Ⓓ → Ⓑ
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

参考

- 計測を開始後は、他のモードに切り替えたり、計測範囲を超えても **Ⓑ** ボタンを押すまで計測を継続します。
- スプリット計測中に他のモードへ切り替えると、スプリットが解除されて経過時間を計測します。

タイマー

タイマーは1分から24時間まで設定することができます。タイムアップになると10秒間電子音が鳴る、または時計を10秒間振動させてお知らせします。

 アラーム/タイマー報知方法の設定…P.36

タイマーモードを選ぶ

● 時刻モードで、**Ⓒ** ボタンを4回押すと、タイマーモードに切り替わります。

 モードの種類と切り替え…P.14



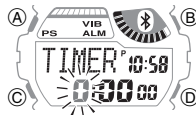
計測時間を設定する

① タイマーモードで、**Ⓐ** ボタンを約2秒間押し続けます。

- [SET Hold] を表示した後に [SET Hold] が消え、計測時間設定画面に切り替わります。
- タイマー計測中は、**Ⓓ** ボタンを押して計測を停止してから **Ⓑ** ボタンを押し、計測時間をリセットします。
- タイマー計測が一時停止している場合は、**Ⓑ** ボタンを押して計測時間をリセットします。

② **Ⓒ** ボタンを押すごとに「時」または「分」の選択が切り替わります。

選択している方が点滅します。



③ ⑧ または ⑨ ボタンを押して「時」または「分」を設定します。

- ⑧ または ⑨ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 計測時間を 24 時間に設定するときは、タイマー表示を 0H 00' 00 にしてください。

④ ① ボタンを押して設定を終了します。

計測する

● タイマー計測のボタン操作は、以下の通りです。

⑨ → ⑨ → ⑨ → ⑨ → ⑧
 スタート ストップ (再スタート) (ストップ) リセット

参考

- タイムアップになると電子音／振動が 10 秒間鳴り、画面が計測前の状態に切り替わります。
- 他のモードに切り替えていても、タイムアップ音が鳴ります。

電子音／振動を止める

- いずれかのボタンを押す、または時計画面の中心を指先で 2 回タップすると、電子音／振動が止まります。

セットアップ

セットアップモードでは、Bluetooth デバイス情報の確認や各種の設定ができます。

Bluetooth デバイス情報・有効サービス情報を確認する

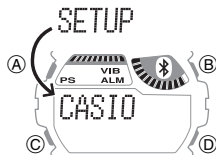
- ① 時刻モードで、**ⓐ** ボタンを 5 回押すと、セットアップモードに切り替わります。

[SETUP] を表示し、約 1 秒後に Bluetooth デバイス名表示に切り替わります。

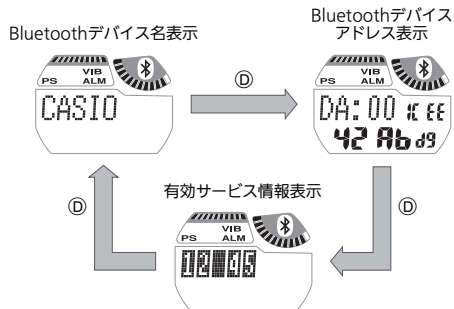
参考

セットアップモードのまま 2 ～ 3 分間何も操作しないと、自動的に時刻モードに戻ります。

🔍 モードの種類と切り替え…P.14



- ② **ⓓ** ボタンを押すごとに Bluetooth デバイスまたは有効サービス情報を表示します。



- **ⓑ** ボタンを約 2 秒間押し続けるとペアリング（接続設定）情報を消去します（接続中は消去できません）。
- ペアリング（接続設定）情報が無い場合、有効サービス情報は、「NOT YET PAIRED!」とスワイプ表示されます。

- ③ **Ⓒ** ボタンを押すと時刻モードに切り替わります。

有効サービス情報

有効サービス情報画面に表示される番号とサービスは、以下の通りです。

番号	内容
1	時刻修正
2	UTC に対する時差およびサマータイム情報の取得
3	携帯電話の音／振動止め
4	電話／メールの着信のお知らせ
5	携帯電話探索

- 各サービスのうち、ご利用できる機能は携帯電話に依存します。

オプション機能の設定

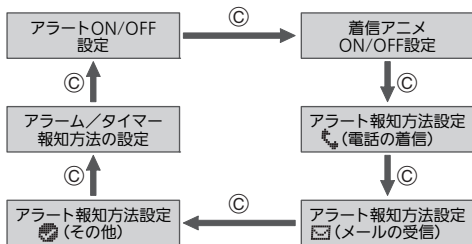
オプション機能の設定では、以下の機能を設定できます。

機能	内容
アラート ON/OFF 設定	電話の着信やメールの受信などをお知らせする機能の ON/OFF を設定します。
着信アニメ ON/OFF 設定	電話の着信時に、アニメーションを表示してお知らせする機能の ON/OFF を設定します。
アラート報知方法設定	電話の着信やメールの受信などをお知らせする方法を、「報知しない」／「振動のみ」／「音のみ」／「振動と音」から選択します。

- ① セットアップモードで、**Ⓐ ボタン**を約 2 秒間押し続けます。

[SET Hold] を表示した後に [SET Hold] が消え、アラート ON/OFF 画面に切り替わります。

- ② ③ ボタンを押すごとに、以下の画面に切り替わります。



◆アラート機能の ON/OFF

- ① ④ ボタンを押して、アラート機能の ON/OFF を選択します。

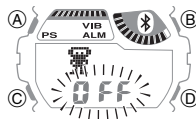


- ② 引き続き着信アニメ機能を設定するときは、③ ボタンを押します。

設定を終了するときは、④ ボタンを押します。

◆着信アニメ機能の ON/OFF

- ① ④ ボタンを押して、着信アニメ機能の ON/OFF を選択します。

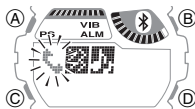


- ② 引き続きアラート報知方法（電話の着信）を設定するときは、③ ボタンを押します。

設定を終了するときは、④ ボタンを押します。

◆アラート報知方法の設定（電話の着信）

- ① ① ボタンを押して、アラート報知方法を選択します。



表示なし：テキスト表示のみでお知らせします



：振動でお知らせします



：音でお知らせします



：振動と音でお知らせします

- ② 引き続きアラート報知方法（メールの受信）を設定するときは、③ ボタンを押します。

設定を終了するときは、④ ボタンを押します。

◆アラート報知方法の設定（メールの受信）

- ① アラート報知方法（電話の着信）と同様に、① ボタンを押してアラート報知方法を選択します。

- ② 引き続きアラート報知方法（その他）を設定するときは、③ ボタンを押します。

設定を終了するときは、④ ボタンを押します。

◆アラート報知方法の設定（その他※）

- ① アラート報知方法（電話の着信）と同様に、① ボタンを押してアラート報知方法を選択します。

- ② 引き続きアラーム／タイマー報知方法の設定をするときは、③ ボタンを押します。

設定を終了するときは、④ ボタンを押します。

※ 携帯電話のアラームなどの通知（ご利用できる機能は携帯電話に依存します）。

◆アラーム／タイマー報知方法の設定

- ① ① ④ ボタンを押してアラーム／タイマー報知方法を選択します。

音報知



振動報知



BEEP : 音でお知らせします

VIB : 振動でお知らせします

- ② ② ④ ボタンを押して設定を終了します。
- ③ ③ ④ ボタンを押すと、時刻モードに切り替わります。

ボタンの操作音

ボタンを押したときに鳴る操作音は、ON/OFF の切り替えができます。

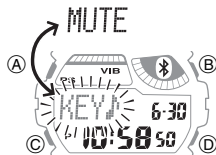
ボタン操作音の ON/OFF

- ① 時刻モードで、**Ⓐ** ボタンを約 2 秒間押し続け、タイムゾーンセット画面に切り替えます。

 手動で時刻を合わせる (Bluetooth が OFF のとき)
…P.22

- ② **Ⓒ** ボタンを 9 回押して、操作音設定画面に切り替えます。

画面に [KEY ♪] または [MUTE] を表示します。



- ③ **Ⓓ** ボタンを押して、操作音の設定を [KEY ♪] (ON) または [MUTE] (OFF) にします。

操作音の設定を [MUTE] (OFF) にすると、画面の上部に [MUTE] を表示します。

- ④ **Ⓐ** ボタンを押して時刻モードに切り替えます。

参考

操作音の設定が OFF の場合でも、アラーム音、時報、タイムアップ音などは鳴ります。

ライト

暗いところで時計の表示を見るときに、ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。

ライトを点灯させる

- ① ボタンを押すとライトが点灯します。



参考

ライト点灯中にアラーム音などが鳴ったり、各着信があった場合、消灯します。

◆ライト使用に関する注意事項

ライトを頻繁に使用するとバッテリーの寿命が短くなります。

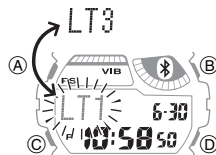
ライトの点灯時間を切り替える

- ① 時刻モードで、① ボタンを約 2 秒間押し続け、タイムゾーンセット画面に切り替えます。

🔍 手動で時刻を合わせる (Bluetooth が OFF のとき)
…P.22

- ② ③ ボタンを 10 回押し、ライト点灯時間設定画面に切り替えます。

画面に [LT1] または [LT3] を表示します。



- ③ ④ ボタンを押して、[LT1] (1.5 秒間点灯) または [LT3] (3 秒間点灯) を選択します。
- ④ ① ボタンを押して時刻モードに切り替えます。

パワーセービング

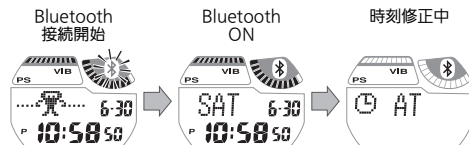
パワーセービングとは、Bluetooth 接続している状態で時計を動かしたり、ボタンの操作をしない状態で約 1 時間経過すると自動的に節電状態になる仕組みです。この機能は ON/OFF の切り替えができます。

節電機能が働いているとき、時計の機能は以下の状態になります。

画面	表示／機能
	- 時刻モードに戻ります。 [PS] マークが点滅します。 - Bluetooth を OFF にしますが、他の機能はすべて作動しています。 - アラーム、時報、タイマーの電子音／振動は機能します。

節電状態の解除

節電状態のときに時計を傾ける、またはいずれかのボタンを押すと、節電状態が解除され、自動的に Bluetooth 接続を開始して時刻を修正します。



参考

- 近くに対応機器（携帯電話）が無い場合は、自動接続しません。

 対応機器（携帯電話）との接続を解除／再接続する
…P.18

- ペアリング（接続設定）情報が無い場合や接続に失敗したときは、Bluetooth が OFF（Bluetooth マーク消灯）のまま、時刻モードに切り替わります。

- 時計を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは傾斜スイッチが作動する音で故障ではありません。

パワーセービングの ON/OFF

- ① 時刻モードで、**Ⓐ** ボタンを約 2 秒間押し続け、タイムゾーンセット画面に切り替えます。

 手動で時刻を合わせる (Bluetooth が OFF のとき)
…P.22

- ② **Ⓒ** ボタンを 11 回押し、パワーセービング設定画面に切り替えます。

画面に [PS ON] または [PS OFF] を表示します。



- ③ **Ⓓ** ボタンを押して、パワーセービングの設定を ON または OFF にします。

- パワーセービングを ON にすると、画面の上部に [PS] を表示します。
- パワーセービングを OFF にすると、節電状態になりません。

- ④ **Ⓐ** ボタンを押して時刻モードに切り替えます。

重要

パワーセービングを OFF にすると、バッテリーの寿命が短くなります。

バッテリーの交換時期

バッテリーの電圧が低下すると、バッテリーマークを画面に表示します。バッテリーマークが表示されると使用できる機能が制限されます。常にバッテリーマークが表示される場合は、バッテリーを交換してください。

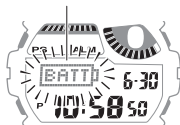
参考

バッテリー寿命の目安および使用バッテリーは「製品仕様」を参照してください。

🔍 製品仕様…P.44

バッテリーマークが表示されると以下の状態になります。

バッテリーマーク



- 時刻モードに切り替わりません。
- Bluetooth が OFF になり、Bluetooth 通信ができなくなります。
- ライトが点灯しません。
- 音および振動によるお知らせができません。
- タップ機能が使用できません。

参考

Bluetooth 機能、ライト、電子音および振動などを短時間に連続使用すると、バッテリーの電圧低下を防ぐため、バッテリーマークを表示して一時的に機能を制限します。

🔍 故障かな？と思ったときは…P.42

故障かな?と思ったときは

通信機能

状況	原因と対処
対応機器と接続できない	近くに対応機器(携帯電話)が無い、または設定が正しくありません。  Bluetooth 対応機器と接続する(ペアリング) …P.16

時刻表示

状況	原因と対処
現在時刻の表示がずれている	Bluetooth が ON の場合は、対応機器(携帯電話)の時刻が正しくない、時刻修正が行われていない、もしくは通信の遅延の影響が考えられます。
	Bluetooth が OFF の場合は、手動で時刻を修正します。  手動で時刻を合わせる(Bluetooth が OFF のとき) …P.22

状況	原因と対処
現在時刻の表示が1時間ずれている	サマータイムの設定および時差が正しくありません。  手動で時刻を合わせる(Bluetooth が OFF のとき) …P.22

ワールドタイムモード

状況	原因と対処
設定したワールドタイム都市の時刻がずれている	現在時刻の設定が正しくありません。  重要 携帯電話がサービス 2 (P.33 参照) に対応していない場合、時計本体のタイムゾーンとサマータイム、およびワールドタイムの各都市のサマータイムの設定をしないと正しいワールドタイム時刻は表示されません。  時刻と日付の合わせ方…P.22

バッテリー

状況	原因と対処
一時的にバッテリーマークを表示する	Bluetooth 機能、ライト、電子音および振動などを短時間に連続使用するとバッテリーの電圧低下を防ぐため、バッテリーマークを表示して一時的に機能を制限しますが、復帰後は通常の状態に戻ります。  参考 常にバッテリーマークが表示される場合は、バッテリーを交換してください。

製品仕様

水晶発振周波数 : 32,768Hz

精 度 : 通信機能による時刻修正が行えない
場合:平均月差±15秒
通信機能による時刻修正を行った場合:携帯電話の時刻精度や通信環境に
依存

基 本 機 能 : 時・分・秒、午前／午後(P)、12/24時
間制表示、月・日・曜日、フルオートカレ
ンダー(2000～2099年)、サマータイ
ム設定機能

通 信 機 能 : Bluetooth® v4.0 (Bluetooth® low
energy technology対応)
通信レート=1Mbps
送信出力=0dBm(1mW)
通信距離=～2m(環境により変化)
暗号化方法=128bit AES

時刻修正機能 : 手動修正／自動修正

アラート機能 : 電話／メールなどの着信を電子音や
振動で報知

携帯探索機能 : 時計操作により、接続中の携帯電話の
着信音を鳴らす

ワ ー ル ド : 世界100都市(35タイムゾーン)+UTC
タ イ ム 機 能 (協定世界時)の時刻を表示、サマー
タイム設定機能

アラーム機能 : 時刻アラーム5本
セット単位=時・分
電子音および振動= 10 秒間
時報=毎正時に2回電子音または振
動で報知

ス ト ッ プ : 計測単位=1/100秒
ウ オ ッ チ 機 能 計測範囲=23時間59分59秒99
(24時間計)
計測機能=通常計測、積算計測、
スプリット計測

タイマー機能 : 計測単位=1秒
計測範囲=24時間
セット単位=1分
電子音および振動=10秒間
タイムアップ時=電子音または振動
で報知

そ の 他 : 自動復帰機能、パワーセービング、
高輝度LEDライト、ライト点灯時間
切り替え、操作音ON/OFF切り替え、
12/24時間制表示切り替え

使 用 電 池：CR2032(電池別途販売)

電 池 寿 命：約2年

使用条件

- Bluetooth リンク機能を1日あたり
12 時間使用
- 音声着信：3 回／日
- メール着信／その他通知：10 回／日
- ライト：1 回（1.5 秒）／日
- アラーム：1 回（10 秒）／日

ご使用条件によっては、電池寿命が
短くなることがあります。

ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏蓋に表記	日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキndaイブング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング（空気ボンベ使用）での使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水にかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があります、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- + 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。
- 時計動作に影響を与えることはありませんが、製品自体が磁気を帯びますと精度に影響を与えますのでお避けください。
なお、極度に強い磁気（医療機器など）は、誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。

ご使用上の注意

- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとし色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当たったり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。

- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

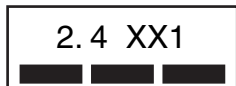
■データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

無線に関するご注意

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式はその他の方式です。また、想定される干渉距離は約 10m です。



- 本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

- 本機は、電波法に基づいて技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。

- 本機は、技術基準適合証明を受けていますので以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解および改造すること

- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯（2.4GHz）を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。

- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。

- 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
- 鉄筋コンクリート（マンションなど）や鉄骨構造の建物内
- 大型金属製家具の近く
- 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
- 腕時計と携帯電話等が別々の部屋にある場合（障害物がある場合）

- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受すること考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることは使用しないでください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。

- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います（防水検査は別途有償となります）。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。

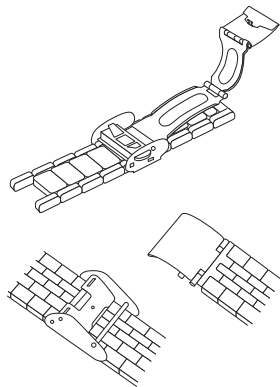
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）



都市コード一覧表

コード	タイムゾーン	都市名	同じタイムゾーンの都市
UTC	0	協定世界時	
LONDON	0	ロンドン	レイキャヴィーク、リスボン、カサブランカ
PARIS	+ 1	パリ	マドリード、アルジェ、ブリュッセル、アムステルダム、チューリッヒ、フランクフルト、オスロ、ローマ、コペンハーゲン、ベルリン、ストックホルム、ブダペスト、ワルシャワ
CAIRO	+ 2	カイロ	エルサレム、ケープタウン、ソフィア、アテネ、ヘルシンキ、イスタンブル、キエフ
JEDDAH	+ 3	ジェッダ	モスクワ、アディスアベバ
TEHRAN	+ 3.5	テヘラン	
DUBAI	+ 4	ドバイ	
KABUL	+ 4.5	カブール	
KARACHI	+ 5	カラチ	
DELHI	+ 5.5	デリー	
KATHMANDU	+ 5.75	カトマンズ	
DHAKA	+ 6	ダッカ	ノヴォシビルスク
YANGON	+ 6.5	ヤンゴン	
BANGKOK	+ 7	バンコク	ハノイ、ジャカルタ

都市コード一覧表

コード	タイムゾーン	都市名	同じタイムゾーンの都市
HONG KONG	+ 8	香港	クアラルンプール、パース、シンガポール、北京、マニラ、上海、台北
TOKYO	+ 9	東京	ソウル
ADELAIDE	+ 9.5	アデレード	
SYDNEY	+ 10	シドニー	ウラジオストク、グアム
NOUMEA	+ 11	ヌーメア	
WELLINGTON	+ 12	ウェリントン	スバ
CHATHAM ISLANDS	+ 12.75	チャタム諸島	
NUKUALOFA	+ 13	ヌクアロファ	
KIRITIMATI	+ 14	クリスマス島	
PAGO PAGO	- 11	パゴパゴ	
HONOLULU	- 10	ホノルル	
ANCHORAGE	- 9	アンカレジ	
LOS ANGELES	- 8	ロサンゼルス	バンクーバー、シアトル、サンフランシスコ、ティファナ
DENVER	- 7	デンバー	エドモントン、フェニックス、チワワ
CHICAGO	- 6	シカゴ	メキシコシティ、ウィニペグ、ダラス、ヒューストン、グアテマラシティ

コード	タイムゾーン	都市名	同じタイムゾーンの都市
NEW YORK	－ 5	ニューヨーク	アトランタ、ハバナ、トロント、リマ、ワシントン DC、キングストン、フィラデルフィア、ボゴタ、ボストン
CARACAS	－ 4.5	カラカス	
SANTIAGO	－ 4	サンティアゴ	ラパス、サンフアン、ハリファックス
SAINT JOHN'S	－ 3.5	セントジョンズ	
RIO DE JANEIRO	－ 3	リオデジャネイロ	ブエノスアイレス、モンテビデオ
F. DE NORONHA	－ 2	フェルナンド・デ・ノローニャ	
PRAIA	－ 1	プライア	

☞ 参考

- この表は 2010 年 12 月現在作成のものです。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所のタイムゾーンを確認し、タイムゾーンが一致する都市コードを選択してください。
- この表のタイムゾーンは、協定世界時（UTC）を基準としたものです。

Japan Compliance Statement

This device has been granted a designation number by Ministry of Internal Affairs and Communications according to the Ordinance concerning Technical Regulations Conformity Certification etc. of Specified Radio Equipment (特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則)

Article 2 clause 1 item 19

Approval number: R: 202WWSM11569691

T: D 11-0026 202

This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

FCC statements

Statement according to Part 15.19

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Statement according to Part 15.21

Changes or modifications made to this equipment not expressly approved by CASIO COMPUTER CO., LTD. may void the FCC authorization to operate this equipment.

Statement according to Part 15.105

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

RF Exposure Information according to 2.1091 / 2.1093 / OET bulletin 65

Radiofrequency radiation exposure Information:

The radiated output power of the device is far below the FCC radio frequency exposure limits.

IC statements

Statement according to RSS-210

This device complies with RSS-210 of Industry Canada.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Déclaration de conformité à la RSS-210

Ce dispositif est déclaré conforme à la norme RSS-210 d'Industrie Canada.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

- (1) cet appareil ne doit pas causer d'interférences nuisibles, et
- (2) cet appareil doit accepter les interférences reçues, y compris celles susceptibles de causer un fonctionnement indésirable.

EU declaration of Conformity

http://ec.europa.eu/enterprise/sectors/rtte/documents/interpretation/index_en.htm#h2-23

English	Hereby, CASIO COMPUTER CO., LTD , declares that this Bluetooth watch is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
Finnish	CASIO COMPUTER CO., LTD vakuuttaa täten että Bluetooth watch tyypinen laite on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiivin muiden ehtojen mukainen.
Dutch	Hierbij verklaart CASIO COMPUTER CO., LTD dat het toestel Bluetooth watch in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG
	Bij deze verklaart CASIO COMPUTER CO., LTD dat deze Bluetooth watch voldoet aan de essentiële eisen en aan de overige relevante bepalingen van Richtlijn 1999/5/EC.
French	Par la présente CASIO COMPUTER CO., LTD déclare que l'appareil Bluetooth watch est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE
	Par la présente, CASIO COMPUTER CO., LTD déclare que ce Bluetooth watch est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions de la directive 1999/5/CE qui lui sont applicables
Swedish	Härmed intygar CASIO COMPUTER CO., LTD att denna Bluetooth watch står i överensstämmelse med de väsentliga egenskapskrav och övriga relevanta bestämmelser som framgår av direktiv 1999/5/EG.
Danish	Undertegnede CASIO COMPUTER CO., LTD erklærer herved, at følgende udstyr Bluetooth watch overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF
German	Hiermit erklärt CASIO COMPUTER CO., LTD , dass sich dieser/diese/dieses Bluetooth watch in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den anderen relevanten Vorschriften der Richtlinie 1999/5/EG befindet". (BMW i)
	Hiermit erklärt CASIO COMPUTER CO., LTD die Übereinstimmung des Gerätes Bluetooth watch mit den grundlegenden Anforderungen und den anderen relevanten Festlegungen der Richtlinie 1999/5/EG. (Wien)

EU declaration of Conformity

Greek	ΜΕ ΤΗΝ ΠΑΡΟΥΣΑ CASIO COMPUTER CO., LTD ΔΗΛΩΝΕΙ ΟΤΙ Bluetooth watch ΣΥΜΜΟΡΦΩΝΕΤΑΙ ΠΡΟΣ ΤΙΣ ΟΥΣΙΩΔΕΙΣ ΑΠΑΙΤΗΣΕΙΣ ΚΑΙ ΤΙΣ ΛΟΙΠΕΣ ΣΧΕΤΙΚΕΣ ΔΙΑΤΑΞΕΙΣ ΤΗΣ ΟΔΗΓΙΑΣ 1999/5/ΕΚ
Italian	Con la presente CASIO COMPUTER CO., LTD dichiara che questo Bluetooth watch è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE.
Spanish	Por medio de la presente CASIO COMPUTER CO., LTD declara que el Bluetooth watch cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE
Portuguese	CASIO COMPUTER CO., LTD declara que este Bluetooth watch está conforme com os requisitos essenciais e outras disposições da Directiva 1999/5/CE.

The copy of the Declaration of Conformity can be found on <http://world.casio.com/ce/BLE/>